

科目名	アジア経済論	科目分類	■専門科目群（第1グループ） □総合科目群（第2グループ）
			経済学科 □必修 ■選択 学科 □必修 □選択
英文表記	Asian Economy	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年
ふりがな	たかちほ やすなが	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
担当者名	高千穂 安長	修得単位	2単位
授業のテーマ	現在の世界経済について決定的に重要な役割を果たしているアジア経済を対象とする。		
授業概要	日本、東アジア、ASEANの順でアジア諸国は経済発展を遂げてきた。現在では世界経済の主要プレイヤーであるアジア経済について理解を深め、なぜそのような発展が可能だったのか、アフリカ、中南米諸国も同様な発展が可能なのかについて理解を深めていく。		
到達目標	経済記事が理解でき、自分の意見を表明できるようになる。		
授業時間外の学習	各回の講義時に、次回の講義レジュメが配布される。参考図書やwebにより事前学習をしていることが望ましい。		
履修条件	なし。		
授業計画			
第1回	イントロダクション	アジア経済論で学ぶこと、成績評価等の解説	
第2回	アジアと世界		
第3回	人口転換現象、ペティ・クラークの法則		
第4回	経済成長と所得分配		
第5回	人的資本、産業政策、アジア諸国の貿易構造推移		
第6回	低水準均衡のワナ、東アジアの奇跡		
第7回	アジア各国 台湾		
第8回	アジア各国 韓国		
第9回	アジア各国 中国		
第10回	アジア各国 マレーシア		
第11回	アジア各国 タイ		
第12回	アジア各国 ベトナム		
第13回	アジア各国 インドネシア		
第14回	アジア各国 地域共同体		
第15回	総復習	学生の理解が低い箇所について解説	
第16回	定期試験		
テキスト	毎回、次回講義レジュメを配布する。		
参考文献・資料	1 大泉啓一郎「老いていくアジア」中央公論新社（中公新書）2007年 2 アジア経済論、原洋之介、NTT出版2001年		
成績評価の方法	出席が2/3に満たない場合は受験を認めない。また、遅刻は1回につき1/3欠席とする。 成績評価は、受講態度（含討議参加度）など平常点40%、期末テスト40%、ミニテスト等20%とする。		
成績評価基準	【平成27年度（2015）以前に入学した学生】 優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下） 【平成28年度（2016）以降に入学した学生】 秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下） ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。		
オフィスアワー	月曜2限、水曜4限		
学生へのメッセージ	世界経済はアジアを抜きには語れない。アジアは今の地位をどのように得たか。大いに関心を持ち、ニュースなどにも注意を払うことが望ましい。		

